

# れいんぼー便り④

人と人がつながり、支え合う地域をみんなで作るために

特別支援教育推進協議会

※この協議会は、小中学校、幼稚園、保育園、教育委員会、健康福祉課などの職員で組織しています。昨年度まで発信していた「もやい便り」から今年度より「れいんぼー便り」に変更し、子どもたちについての情報をお知らせしていく予定です。

お子さんのことで、気になること、不安なことはありませんか？  
誰にでもよくあることです。こんなことがあったら、お気軽にご相談ください。

## 0歳～就学前

- ・視線を合わせない
- ・言葉の遅れがある
- ・かんしゃくを起こし、泣き続ける
- ・偏食が多い

## 小学生(7歳から12歳ごろ)

- ・学習についていけない
- ・授業中にうろろしてしまう
- ・順番やルールが理解できない
- ・整理整頓が苦手

## 中学生(13歳から15歳ごろ)

- ・カッとなると手が出やすい
- ・極端に忘れ物が多い
- ・こだわりが強い
- ・会話が一方的

その他、行き渋りや子育ての悩みなど保護者のみなさんの御相談をお受けしています。

お子さんや保護者の皆さんの不安を“安心”に・・・  
一緒に考えていきます



スクール  
ソーシャルワーカー  
の

梶原 浩介です

子どもたちの学校生活では、様々な事情により、学校に行けない、行きづらい子どもたちがいます。身体やこころの健康状態、友達関係、勉強の課題など、子どもたちもまた子どもながらに悩みを抱え生活していることがあります。保護者の皆さんも子育てやお子さんとの関わりで悩まれ、元気をなくされている方も少なくありません。

スクールソーシャルワーカーは、子どもたちの教育を保障するために、お子さんや保護者が感じている悩みや思いに寄り添いながら、一緒に考えていきます。お子さんが元気で過ごすためにはまずは皆さんが元気になることが大切です。ご相談に関しては秘密厳守ですのでどうぞ安心してご相談ください。



家庭児童相談  
専門員の

保坂 亜矢子です

日々成長する子どもたち、それを一番近くで見ている大人の皆さんは、とても大きな存在です。子育ては楽しいけれど、そればかりではなく大変すぎて疲れることもあり、悩みも成長とともに増えていきます。それは当たり前のことで、完璧な親はどこにもいません。そして、それぞれの家庭に様々な事情があるはずで。

誰かに安心して話し、スッキリして、また子どもと向き合う…そんな日々であって欲しいと願っています。家庭児童相談専門員が、皆さんにとって聞き手の一人になったら幸いです。

大刀洗町では様々な支援者がおり、連携し対応しています。一緒に考え共に育っていきましょう。笑ったり泣いたりしながらおしゃべりできれば少しずつ楽になります。どんなことでも構いません。お待ちしております。

気になることがあれば、教育委員会子ども課へお問い合わせください

問合せ先 ☎77-6205